

第1章

企業活動と会計処理

第1章では、簿記会計の基本的な知識を確認する問題が用意されています。基本的な専門用語を理解し、取引の仕訳が正確にできるか否か、確認してください。簿記会計に関する用語・知識に関する問題は、各種検定試験で出題されています。

企業活動と会計処理

第1章

会計ソフトの操作(基礎知識)

第2章

企業の基幹業務と会計処理

第3章

税金に関連する業務と会計処理(基礎編)

第4章

会計データの入力処理と集計

第5章

決算に関連する業務と会計処理(月次決算)

第6章

会計データの入力練習(その1)

第7章

会計データの入力練習(その2)

第8章

ANSWER

解答

1. 経営情報の活用と仕訳

問題 1

次の文章中の空欄に適切なものを語群から選び、(1)～(8)の解答欄に記号で記入してください。

設問 1

私たちは、企業へ勤めて、 (1) を提供し給与を得ています。または、みずから企業を起こして経営している方もいるでしょう。社会には、さまざまな会社や商売がありますが、どんな商売でも一定の資金を集め、仕事をして何かしらの、 (2) を社会に提供します。さらに、従業員を雇うことは、個人へ (3) を提供し、給料を支払い、個人の活躍の場を提供していることになります。また、得られた利益は、法に従って課税され、 (4) として行政サービスの財源を担っています。

語 群

ア	税金	イ	労働力	ウ	商品・サービス	エ	職場（仕事）
---	----	---	-----	---	---------	---	--------

設問 2

企業活動は、株主、他の企業そして銀行（投資会社）などから一定の資金を集め、「人」、「もの」、「サービス」へ投資し、購入・生産・販売することで投資した以上のお金を回収しようとする活動です。

投資した以上の資金を回収し、株主などに (5) を支払い、借り入れた資金を返済し、従業員に (6) を支払います。さらには、将来へ向けて、開発などの投資を決定しなければなりません。集めた資金で「人」「もの」「金」「情報」という (7) を有効に活用しなければ、付加価値をつけた (8) を提供し続けることはできません。

語 群

ア	経営資源	イ	配当や利子	ウ	給与や賞与	エ	商品・サービス
---	------	---	-------	---	-------	---	---------

解答欄

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)

問題 2

全経 3級 日商 3級

次の文章中の空欄に適切なものを語群から選び、(1)～(17)の解答欄に記号で記入してください。

設問 1

貸借対照表は、 (1) , 負債、 (2) に区分される。負債と (2) は会社がどのように (3) を集めたかを示し、 (1) はそれがどのように使われているかを示している。

貸借対照表に表示されている売掛金の残高は、 に対する掛売り代金の未回収額であり、買掛金の残高は に対する商品代金の未払額である。また、損益計算書に表示されている売上総利益は、 から を差し引いたものである。

語 群

ア	資金	イ	資産	ウ	純資産(資本)	エ	販売費及び一般管理費
オ	売上原価	カ	仕入先	キ	得意先	ク	売上高

設問 2

資産は と固定資産などに分類される。 は、現金のほか、普通預金や など短期的に現金化されるものをいう。一方、負債は流動負債と に分類される。流動負債は、 や短期借入金など短期的に支払うものをいう。

減価償却費累計額の金額は、貸借対照表の の内訳を表示させて確認することができる。また、当期の減価償却費の金額は、損益計算書の の内訳を表示させて確認することができる。

語 群

ア	流動資産	イ	固定負債	ウ	売掛金	エ	買掛金
オ	固定資産	カ	純資産	キ	販売費及び一般管理費	ク	営業外費用

設問 3

- ・・・売上高から販売した商品の原価を差し引いた利益部分を示し、粗利益ともいいます。
- ・・・営業とは関係ない臨時の損益までを含めて計算した最終的な利益を意味します。
- ・・・給料や営業の諸経費を差し引いた利益で、会社の本業で得た利益です。
- ・・・利息や有価証券の売買による損益などを含めた日常的な経営活動で得た利益です。

語 群

ア	営業利益金額	イ	税引前当期純利益金額	ウ	売上総利益金額	エ	経常利益金額
---	--------	---	------------	---	---------	---	--------

解答欄

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)
(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)					

問題 3

次の取引について、振替伝票に仕訳しましょう。(補助科目も記入しましょう。)

5月2日 現金 560,000 円を赤坂銀行の普通預金に預け入れた。
(補助科目：赤坂銀行)

日付 (D): 05/02

借方科目／補助	借方金額	貸方科目／補助	貸方金額	摘要

5月3日 橋本商会(株)の掛代金 484,000 円に対して、小切手を振り出して支払った。(赤坂銀行)
(補助科目：赤坂銀行、橋本商会(株))

日付 (D): 05/03

借方科目／補助	借方金額	貸方科目／補助	貸方金額	摘要

5月4日 東都信用金庫の普通預金 100,000 円を定期積金に振り替えた。
(補助科目：東都信用金庫)

日付 (D): 05/04

借方科目／補助	借方金額	貸方科目／補助	貸方金額	摘要

5月5日 レジスタの合計を集計し、現金 165,000 円をショップ売上高とした。
(ここでは、現金販売は「ショップ売上高」勘定を使用します。)

日付 (D): 05/05

借方科目／補助	借方金額	貸方科目／補助	貸方金額	摘要

5月6日 商品1,375,000円を厚木産業(株)に掛けで売り上げた。
(補助科目: 厚木産業(株) ここでは, 掛販売は「一般売上高」勘定を使用します。)

日付(D): 05/06

借方科目/補助	借方金額	貸方科目/補助	貸方金額	摘要

5月6日 四葉運輸(株)から発送費4,400円の請求書を受け取り, 未払金とした。
(「未払金」勘定の補助科目として「荷造運賃」を使用します。)

日付(D): 05/06

借方科目/補助	借方金額	貸方科目/補助	貸方金額	摘要

5月10日 (有)文京食器店からの掛け代金として, 小和銀行の普通預金に2,030,400円の入金を確認した。
(補助科目: (有)文京食器店, 小和銀行)

日付(D): 05/10

借方科目/補助	借方金額	貸方科目/補助	貸方金額	摘要

5月12日 商品583,000円を(株)アンデスから掛けで仕入れた。
(補助科目: (株)アンデス)

日付(D): 05/12

借方科目/補助	借方金額	貸方科目/補助	貸方金額	摘要

5月15日 アトラス(株)の買掛金401,500円を現金で支払った。
(補助科目：アトラス(株))

日付 (D)：05/15

借方科目／補助	借方金額	貸方科目／補助	貸方金額	摘要

5月15日 (有)富士に対する買掛金1,036,800円を小和銀行の普通預金から振り込んだ。
なお、振込手数料770円は、当社負担である。(支払手数料として処理します)
(補助科目：(有)富士、小和銀行)

日付 (D)：05/15

借方科目／補助	借方金額	貸方科目／補助	貸方金額	摘要

5月17日 事務用品7,095円を現金で購入した。(消耗品費)

日付 (D)：05/17

借方科目／補助	借方金額	貸方科目／補助	貸方金額	摘要

5月18日 郵便切手4,200円を現金で購入した。

日付 (D)：05/18

借方科目／補助	借方金額	貸方科目／補助	貸方金額	摘要

5月20日 雑誌の掲載料357,500円を赤坂銀行の普通預金から振り込んだ。
 なお、振込時に費用として処理する。(振込手数料は省略します)
 (補助科目: 赤坂銀行)

日付(D): 05/20

借方科目/補助	借方金額	貸方科目/補助	貸方金額	摘要

5月25日 本月分の給料918,000円を現金で支払った。

日付(D): 05/25

借方科目/補助	借方金額	貸方科目/補助	貸方金額	摘要

5月25日 給与支払に対して、源泉所得税 92,000円を現金で預かった。
 (「預り金」勘定の補助科目として「源泉所得税」を使用します。)

日付(D): 05/25

借方科目/補助	借方金額	貸方科目/補助	貸方金額	摘要

5月30日 事務所家賃440,000円を赤坂銀行の普通預金から振り込んだ。
 (補助科目: 赤坂銀行)

日付(D): 05/30

借方科目/補助	借方金額	貸方科目/補助	貸方金額	摘要

問題 4

全経 3 級

次の各文が正しければ 1 を、間違いならば 2 を解答欄に記入してください。

- (1) 借入金の追加借り入れを取引の 8 要素の点から見ると、負債の減少に該当する。
- (2) 売掛金の回収を取引の 8 要素の点から見ると、売掛金は資産の減少に該当する。
- (3) 貸付金の回収を取引の 8 要素の点から見ると、貸付金は資産の減少に該当する。
- (4) 商品 110,000 円を販売し、代金は掛けとした。なお、発送のために自社が負担する費用 2,200 円は現金で支払い、次の通り仕訳を行った。

借方科目	借方金額	貸方科目	貸方金額
売掛金	112,200	売上高	110,000
		現金	2,200

※ 商品販売の際に、先方負担の発送費等を当社が立て替え払いした場合は、掛代金に含めて請求する場合があります。なお、当社負担の場合は、費用として計上しなければなりません。

- (5) 先日、従業員の出張に際し、旅費概算額 50,000 円を現金で仮払いした。本日、従業員が出張から帰り、往復航空券 47,300 円であった旨の報告を受け、仮払額との差額を現金で精算した。そこで、次の通り仕訳を行った。

借方科目	借方金額	貸方科目	貸方金額
旅費交通費	47,300	仮払金	47,300
現金	2,700	仮払金	2,700

- (6) 給与より控除した社会保険料（従業員預り分 330,000 円 会社負担分 330,000 円）を社会保険事務所へ納付するために普通預金口座から振り込み、次の通り仕訳を行った。

借方科目	借方金額	貸方科目	貸方金額
社会保険料	330,000	普通預金	330,000
法定福利費	330,000	普通預金	330,000

- (7) 従業員の出張にともない、110,000 円を現金で仮払いし、次の通り仕訳を行った。

借方科目	借方金額	貸方科目	貸方金額
前払金	110,000	現金	110,000

解答欄

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)

問題 5

全経 3級

次の各文が正しければ 1 を、間違いならば 2 を解答欄に記入してください。ただし、補助科目は設定されていません。

- (1) 給与から控除した源泉所得税 635,000 円を現金で納付した。そこで次の通り仕訳を行った。

借方科目	借方金額	貸方科目	貸方金額
預り金	635,000	現金	635,000

- (2) 福島商店より商品 1,650,000 円の仕入を行った。当社の消費税の会計処理は、税抜経理方式を採用している。そこで次の通り仕訳を行った。

借方科目	借方金額	貸方科目	貸方金額
仕入高	1,650,000	買掛金	1,500,000
		仮払消費税	150,000

- (3) 徳島商店の売掛金 110,000 円の回収に、同店が振り出した小切手を受け取り、ただちに当座預金に預け入れた。そこで次の通り仕訳を行った。

借方科目	借方金額	貸方科目	貸方金額
当座預金	110,000	売掛金	110,000

- (4) 仕入先福島商店へ先日発注した商品代金の一部 300,000 円を現金で支払った。そこで次の通り仕訳を行った。

借方科目	借方金額	貸方科目	貸方金額
仮払金	300,000	現金	300,000

- (5) 三伝票制とは、「入金伝票」、「出金伝票」、「仕入伝票」の 3 種類の伝票を使用して取引を記録する方法をいう。

- (6) プリンタ 38,500 円を現金で購入した。そこで次の通り仕訳を行った。

借方科目	借方金額	貸方科目	貸方金額
消耗品費	38,500	現金	38,500

(7) 得意先奈良商店より注文があり，商品代金の一部 500,000 円が注文と同時に当座預金に入金された。そこで次の通り仕訳を行った。

借方科目	借方金額	貸方科目	貸方金額
当座預金	500,000	前受金	500,000

解答欄

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)

第2章

会計ソフトの操作(基礎知識)

第2章では、コンピュータ・リテラシーに関する知識や会計ソフトの操作と関係する簿記会計の知識を確認する問題が用意されています。コンピュータ会計の特徴を理解したうえで、会計ソフトの操作に関係づけられた簿記会計の各問題を解いてみましょう。

企業活動と会計処理

第1章

● 会計ソフトの操作(基礎知識)

第2章

企業の基幹業務と会計処理

第3章

税金に関連する業務と会計処理(基礎編)

第4章

会計データの入力処理と集計

第5章

決算に関連する業務と会計処理(月次決算)

第6章

会計データの入力練習(その1)

第7章

会計データの入力練習(その2)

第8章

ANSWER

解答

問題 1

全経3級

次の(1)～(6)にあげる記述について、もっとも適切な語句を解答群から選択し、解答欄に番号で記入してください。

- (1) パソコンが動作している時に必要なデータやプログラムを一時的に記憶する装置で、パソコン本体の中にある。

(1) の解答群

1. CPU 2. メモリー 3. ハードディスク 4. CD-ROM

- (2) 同一の建物や敷地内などの比較的狭い範囲で接続するネットワークのことである。

(2) の解答群

1. WAN 2. WWW 3. CPU 4. LAN

- (3) 外部の記憶媒体(記録メディア)に保管したデータを読み書きする装置のことである。

(3) の解答群

1. ルーター 2. DVD 3. ドライブ 4. USB メモリー

- (4) パソコンが処理した文字や図形を表示する装置でのことである。

(4) の解答群

1. ソフトウェア 2. ブラウザ 3. ディスプレイ 4. Web ページ

- (5) 世界中のネットワーク同士を相互につないだ世界規模のコンピュータ・ネットワークのことである。

(5) の解答群

1. ブロードバンドルータ 2. OS 3. アプリケーションソフトウェア 4. インターネット

- (6) インターネット上のホームページを閲覧するためのソフトウェアのことである。

(6) の解答群

1. ディスプレイ 2. 基本ソフトウェア 3. ブラウザ 4. Web ページ

解答欄

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)

問題 2

全経 3級

次の文章中の空欄に適切なものを語群から選び、(1)～(14)の解答欄に記号で記入してください。

我が国で市販されている会計ソフトには、決算過程を一覧表にした (1) を出力できるものはほとんどない。(1) は、単純には (2) を貸借対照表欄と損益計算書欄に分割したものである。

コンピュータ会計ソフトでの (2) は、貸借対照表と損益計算書の画面に分割されており、部門別の出力や月次と (3) を反映した年次での出力ができる。(22回 27回 29回 35回 37回 41回改題)

市販のコンピュータ会計ソフトとは、(4) や企業の規模に関係なくあらゆる企業に適用可能な (5) のソフトウェアのことをいい、中小企業や (6) がおもな対象となっている。(25回 29回 31回改題)

市販のコンピュータ会計ソフトは、購入したすべての企業に対応できるようにあらかじめ標準的な (7) が登録されている。なお、購入した企業が自社の勘定組織に合わせて (7) の名称変更、追加登録及び削除をすることも可能である。

このような (7) の登録や残高登録などの作業は (8) や準備処理と呼ばれ、オーダーメイドのコンピュータ会計ソフトのシステム設計と同様に、入力できる取引データや出力できる (9) を決定する重要な作業である。(25回 27回 29回 35回 37回 39回 40回 44回改題)

(10) では、財務諸表を作成するために取引の発生にもとづき仕訳を (11) に記入し、それを (12) に転記し、さらに試算表を作成するように (13) に連続性がある。

一方、コンピュータ会計では、取引データが入力されれば各会計帳簿は同時的に出力が可能であり、(13) に連続性はない。

コンピュータ会計では、プログラムが正しくデータ処理するという前提を置けば、出力情報の誤りの原因は基本的に (14) 処理にある。(25回 33回 43回改題)

語 群

ア	既製	イ	精算表	ウ	勘定科目	エ	個人事業者	オ	運用処理
カ	手書簿記	キ	データ入力	ク	伝票間	ケ	会計帳簿	コ	帳簿間
サ	総勘定元帳	シ	残高試算表	ス	設立年度	セ	導入処理	ソ	仕訳帳
タ	決算整理仕訳	チ	情報出力	ツ	業種	テ	大企業	ト	単式簿記

解答欄

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)		

問題 3

全経 3級

次の各文章の下線を引いた部分について、正しいものには「ア」、誤っているものには「イ」を(1)～(31)の解答欄に記号で記入してください。

- (1) コンピュータ会計ソフトでは、取引データはハードディスクに保存されているが、データ消失などの事故に備えて他の記録媒体に予備データを保存しておく必要がある。これを復元(リストア)という。(23回 26回改題)
- (2) 会計データがこわれた場合には、バックアップデータをハードディスクに復元(リストア)することにより、バックアップ時点までの会計データの復元をすることができる。(38回改題)
- (3) コンピュータ会計ソフトでは、会計データを操作する人を限定するためにパスワードを設定することができる。
- (4) コンピュータ会計システムのうち、市販のコンピュータ会計ソフトはあらゆる企業が使える汎用性の高いソフトウェアである。これをパッケージソフトウェアと呼ぶことがある。(24回 45回改題)
- (5) コンピュータ会計ソフトや表計算ソフトは、アプリケーションソフトウェアと呼ばれている。(26回改題)
- (6) コンピュータ会計ソフトや表計算ソフトは、基本ソフトウェア(またはオペレーティング・システム)と呼ばれている。(32回改題)
- (7) 市販のコンピュータ会計ソフトはあらゆる企業が使える汎用性の高いソフトウェアである。使用できる勘定科目はあらかじめ準備されており、勘定科目の追加も可能である。(23回 34回 38回 42回改題)
- (8) コンピュータ会計ソフトで出力される試算表などは、表計算ソフトに転送(書き出し)して2次加工することが可能である。(23回 24回改題)
- (9) コンピュータ会計ソフトでは、勘定科目を設定した後に、内訳を管理したい勘定科目については補助科目を設定することができる。(36回改題)
- (10) コンピュータ会計ソフトで売上高勘定の内訳管理を行いたい場合、補助科目を設定する方法がある。または、主要勘定科目を複数設定する方法もある。(28回改題)
- (11) 手書簿記と同様にコンピュータ会計ソフトの多くは、精算表を出力することができる。
- (12) コンピュータ会計ソフトの残高試算表に表示されている各勘定科目をマウス操作すると、総勘定元帳を画面表示させることができる。(24回改題)
- (13) コンピュータ会計ソフトでは必ず取引を日付順に入力することで、仕訳日記帳などで取引を日付順に表示することができる。(30回 34回 42回 44回改題)
- (14) コンピュータ会計ソフトの振替伝票画面では、取引を貸借同一金額で入力する必要はない。(36回改題)
- (15) コンピュータ会計ソフトの導入処理や前準備処理は、取引の入力の都度行う必要がある。(26回改題)
- (16) コンピュータ会計ソフトの導入処理や準備処理は、毎月必ず行う必要がある。(32回改題)
- (17) 市販の会計ソフトを会計期間の期首に導入する場合、貸借対照表科目と損益計算書科目の前期繰越金額を入力する。(28回 40回 42回改題)
- (18) コンピュータ会計ソフトの現金出納帳入力画面で取引データを入力した場合、別途、振替伝票形式の入力画面で取引データを仕訳入力しなければならない。(24回 32回 36回改題)
- (19) 預金出納帳画面での取引データ入力は、主として相手勘定科目と預入または引出金額を入力すればよい。(30回改題)
- (20) コンピュータ会計ソフトでは、現金出納帳や売掛帳などの帳簿画面から会計データを入力することができる。
- (21) コンピュータ会計ソフトにおいて売掛金の補助元帳画面から取引を入力した場合、売掛金元帳画面で当該取引を入力する必要はない。(26回改題)
- (22) 売掛代金の振込入金を預金出納帳画面から入力すると、売掛帳の回収欄にも自動的に表示される。
- (23) 振替伝票画面から入力した商品の掛代金の支払取引は、自動的に売掛帳画面に反映される。

- (24) コンピュータ会計ソフトでは、商品掛仕入の取引を買掛帳で入力した後、振替伝票で仕訳入力する必要がある。(23回改題)
- (25) コンピュータ会計ソフトの振替伝票入力画面から仕入先別に買掛金の取引データを入力した場合、買掛金元帳で残高を適切に表示するために買掛金の借方と貸方の合計金額を入力する必要がある。(28回改題)
- (26) コンピュータ会計ソフトで減価償却費計上の仕訳を間接法で入力する場合、減価償却累計額勘定は貸方に入力する。(29回 38回改題)
- (27) コンピュータ会計ソフトで減価償却費計上の仕訳を間接法で入力する場合、減価償却累計額勘定は借方に入力する。(32回改題)
- (28) コンピュータ会計ソフトに会計データを入力すると、元帳や試算表にリアルタイムで反映されるが、決算処理を行わなければ正確な利益金額は得られない。
- (29) 決算整理仕訳は、市販の会計ソフトでは精算表画面で入力する。(23回 40回改題)
- (30) コンピュータ会計ソフトで残高試算表を作成する場合、先に総勘定元帳を作成しておかなければならない。(30回改題)
- (31) コンピュータ会計ソフトは財務諸表の作成機能ばかりでなく、経営分析や資金管理などの経営管理に役立つ会計情報の提供機能も備えている。(28回 36回改題)

解答欄

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)
(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	(21)	(22)
(23)	(24)	(25)	(26)	(27)	(28)	(29)	(30)	(31)		

問題 4

日商 3級

次の文章の空欄にもっとも適切な語句を語群から選び、解答欄に記号で記入してください。

- (1) 電子会計データの取引の内容、金額、残高などを勘定科目ごとに確認するには、
【ア. 試算表 イ. 仕訳帳 ウ. 総勘定元帳 エ. 補助元帳】という帳簿を利用する。
- (2) 会計ソフトを利用するうえで、勘定科目の内訳を管理するためには、
【ア. 消費税設定 イ. 簡易帳簿類 ウ. 内訳表 エ. 補助科目】を新たに設定しなければならない。

解答欄

(1)	(2)

問題 5

全経 3 級

次の文章中の空欄に適切なものを語群から選び、(1)～(9)の解答欄に記号で記入してください。

市販の会計ソフトは、(1) ソフトウェアと呼ばれる。コンピュータ会計ソフトでは、入力した取引データは (2) に保存されるが、データ消失などの事故に備えて (2) 以外の他の (3) 装置に予備データを保存しておくことが望ましい。この作業を (4) という。

コンピュータ会計ソフトの取引データの入力画面には、一般的に (5) 型と (6) 型がある。(5) 型とは、仕訳伝票や振替伝票形式の取引データ入力方式を指し、取引データを (7) 形式で入力する。

一方、(6) 型とは、預金出納帳や売掛帳などの帳簿形式の取引データ入力方式である。たとえば、現金出納帳画面で消耗品費の現金支払取引を入力する場合、相手勘定科目欄に (8) を入力し、(9) 金額欄に金額を入力する。(20回 22回 27回 31回 33回 37回 39回 40回 41回 43回 45回改題)

語 群


ア	基本	イ	財務諸表	ウ	バックアップ	エ	伝票	オ	入力
カ	演算	キ	現金伝票	ク	仕訳帳	ケ	帳簿	コ	消耗品費
サ	アプリケーション	シ	出力	ス	ハードディスク	セ	仕訳	ソ	記憶
タ	支出	チ	現金	ツ	収入	テ	復元	ト	総勘定元帳

解答欄

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)

問題 6

全経 3 級

 **入力練習** 「株式会社ラフィオーレ 5 月度 2 章問題(4期)」の学習用データを復元して使します。(P244 参照)

次の伝票をもとに、振替伝票画面から入力してみましょう。

5 月 2 日 現金 560,000 円を赤坂銀行の普通預金に預け入れた。

日付 (D): 05/02				
借方科目 / 補助	借方金額	貸方科目 / 補助	貸方金額	摘要
普通預金 赤坂銀行	560,000	現金	560,000	

5月3日 橋本商会(株)の掛代金484,000円に対して、小切手を振り出して支払った。(赤坂銀行)

日付(D): 05/03

借方科目／補助	借方金額	貸方科目／補助	貸方金額	摘要
買掛金 橋本商会(株)	484,000	当座預金 赤坂銀行	484,000	

5月4日 東都信用金庫の普通預金100,000円を定期積金に振り替えた。

日付(D): 05/04

借方科目／補助	借方金額	貸方科目／補助	貸方金額	摘要
定期積金 東都信用金庫	100,000	普通預金 東都信用金庫	100,000	

5月5日 レジスタの合計を集計し、現金165,000円をショップ売上高とした。
(ここでは、現金販売は「ショップ売上高」勘定を使用します。)

日付(D): 05/05

借方科目／補助	借方金額	貸方科目／補助	貸方金額	摘要
現金	165,000	ショップ売上高	165,000	

5月6日 商品1,375,000円を厚木産業(株)に掛けで売り上げた。
(ここでは、掛販売は「一般売上高」勘定を使用します。)

日付(D): 05/06

借方科目／補助	借方金額	貸方科目／補助	貸方金額	摘要
売掛金 厚木産業(株)	1,375,000	一般売上高	1,375,000	

5月6日 四葉運輸(株)から発送費4,400円の請求書を受け取り、未払金とした。(荷造運賃)

日付(D): 05/06

借方科目／補助	借方金額	貸方科目／補助	貸方金額	摘要
荷造運賃	4,400	未払金 荷造運賃	4,400	

5月10日 (有)文京食器店からの掛け代金として、小和銀行の普通預金に2,030,400円の入金を確認した。

日付 (D): 05/10

借方科目／補助	借方金額	貸方科目／補助	貸方金額	摘要
普通預金 小和銀行	2,030,400	売掛金 (有)文京食器店	2,030,400	

5月12日 商品583,000円を(株)アンデスから掛けで仕入れた。

日付 (D): 05/12

借方科目／補助	借方金額	貸方科目／補助	貸方金額	摘要
仕入高	583,000	買掛金 (株)アンデス	583,000	

5月15日 アトラス(株)の買掛金401,500円を現金で支払った。

日付 (D): 05/15

借方科目／補助	借方金額	貸方科目／補助	貸方金額	摘要
買掛金 アトラス(株)	401,500	現金	401,500	

5月15日 (有)富士に対する買掛金1,036,800円を小和銀行の普通預金から振り込んだ。
なお、振込手数料770円は、当社負担である。(支払手数料として処理します)

日付 (D): 05/15

借方科目／補助	借方金額	貸方科目／補助	貸方金額	摘要
買掛金 (有)富士	1,036,800	普通預金 小和銀行	1,036,800	
支払手数料	770	普通預金 小和銀行	770	

5月17日 事務用品7,095円を現金で購入した。(消耗品費)

日付 (D): 05/17

借方科目／補助	借方金額	貸方科目／補助	貸方金額	摘要
消耗品費	7,095	現金	7,095	

5月18日 郵便切手 4,200 円を現金で購入した。

日付 (D): 05/18

借方科目／補助	借方金額	貸方科目／補助	貸方金額	摘要
通信費	4,200	現金	4,200	

5月20日 雑誌の掲載料 357,500 円を赤坂銀行の普通預金から振り込んだ。
なお、振込時に費用として処理する。(振込手数料は省略します)

日付 (D): 05/20

借方科目／補助	借方金額	貸方科目／補助	貸方金額	摘要
広告宣伝費	357,500	普通預金 赤坂銀行	357,500	

5月25日 本月分の給料 918,000 円を現金で支払った。

日付 (D): 05/25

借方科目／補助	借方金額	貸方科目／補助	貸方金額	摘要
給料手当	918,000	現金	918,000	

5月25日 給与支払に対して、源泉所得税 92,000 円を現金で預かった。

日付 (D): 05/25

借方科目／補助	借方金額	貸方科目／補助	貸方金額	摘要
現金	92,000	預り金 源泉所得税	92,000	

5月30日 事務所家賃 440,000 円を赤坂銀行の普通預金から振り込んだ。

日付 (D): 05/30

借方科目／補助	借方金額	貸方科目／補助	貸方金額	摘要
地代家賃	440,000	普通預金 赤坂銀行	440,000	

問題 7

全経 3 級

「株式会社ラフィオーレ 5 月度 2 章問題 (4 期)」の会計データについて、検索をして下記の問いに答えてください。

- 4 月 30 日現在の各得意先と仕入先の残高を調べてみましょう。

売掛金

補助科目	前期繰越	当月借方	当月貸方	当月残高	構成比 (%)
厚木産業(株)					
(有)文京食器店					
中央産業(株)					
(有)市川ストア					
愛知マート(株)					

買掛金

補助科目	前期繰越	当月借方	当月貸方	当月残高	構成比 (%)
(株)アンデス					
アトラス(株)					
(有)富士					
橋本商会(株)					
オーヤマ(株)					

- 4 月 25 日 (1 日分) の勘定科目別日計表を作成してください。

勘定科目	前日繰越	借方金額	貸方金額	当日残高
[売上高]				
一般売上高				
ショップ売上高				
[当期商品仕入]				
仕入高				
[販売管理費]				
役員報酬				
給料手当				
雑給				
旅費交通費				
地代家賃				